

# 観光立国推進基本計画における海外旅行2,000万人に向けた取組について

- アウトバウンドの推進は、日本人の国際感覚の向上や国際相互理解の増進に資するだけでなく、航空ネットワーク維持・拡大やインバウンドの更なる拡大にも寄与。
- 2026年3月に策定した第5次観光立国推進基本計画では、日本人の海外旅行者数の目標を2030年までに過去最高値（2,008万人）と定め、関係省庁や関係団体と幅広く連携し、アウトバウンド促進に取り組む。

## 1. 機運醸成を通じた旅行需要喚起

- 海外旅行の促進に向けた機運醸成を通じ、旅行需要の下支えとなる基盤を形成。
  - ・ 関係業界によるキャンペーン
  - ・ 地方空港の活性化を通じた相互交流の促進
  - ・ 各国・地域の観光情報の発信
  - ・ 休暇を取得しやすい環境整備



## 2. 若者の国際交流の促進

- 若者が海外に触れる多様な交流機会を通じ、国際的な視野を広げる機会を拡大。
  - ・ 海外教育旅行の普及啓発・機運醸成
  - ・ ワーキング・ホリデー制度の活用促進や導入国拡大の検討



## 3. 各国・地域との連携体制の強化

- 各国・地域との多角的な連携強化を通じ、双方向の観光交流を一層拡大。
  - ・ 覚書等による二国間の観光交流の取組の推進
  - ・ 日米観光交流の促進
  - ・ 開発途上国等の観光振興に対する協力



## 4. 安心して円滑な旅行に向けた環境整備

- 手続の利便性向上や情報提供及びインフラの拡充を通じ、安心かつ円滑に旅行できる環境を整備。
  - ・ 空港における旅客動線の円滑化・高度化による「FAST TRAVEL」の推進
  - ・ 「たびレジ」等による海外安全情報の提供等、危機管理体制の強化
  - ・ 旅券を取得しやすい環境整備

